

## 広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

### 招 集

令和3年4月12日（月）午前10時 議場

### 出席委員（8名）

（委員長）岡 村 英 治                      （副委員長）矢田貝 香 織  
安 達 卓 是      尾 沢 三 夫      門 脇 一 男      田 村 謙 介  
土 光      均      前 原      茂

### 欠席委員（0名）

### 出席した事務局職員

松下局長 土井次長 佐藤議事調査担当係長

### 傍 聴 者

岩崎議員 戸田議員

### 協議事件

- ・動画配信による議会報告について
- ・その他

~~~~~

### 午後10時00分 開会

**○岡村委員長** ただいまより広報広聴委員会を開会したいと思いますのでよろしくお願いします。  
それでは早速ですが協議事件1、動画配信による議会報告について協議を行いたいと思います。

最初に資料の説明について、佐藤係長のほうからお願いします。

佐藤係長。

**○佐藤議事調査担当係長** では、お配りしております資料の一枚目、動画作成のスケジュール役割分担（案）というA4一枚物を御覧ください。このたび、YouTubeでの動画配信を決定されて、これから作業、協議等進めていかれることとなると思いますが、一応、本当に案ということで事務局のほうから、こういったスケジュール感でこういった協議、こういった作業を進めていってはどうかなということ、たたき台ということで本日は配らせていただいております。もしかしら、もう委員さんの中にはイメージを膨らませて来ておられる方もあるかとは思いますが、ちょっとこの資料の説明をさせていただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

一応、私の頭の中でといたしますか、考えておりましたもの、上から順番に説明させていただきますと、まず白丸の今日の4月12日から4月18の週ということで、ちょっと週ごとに分けてスケジュール感がわかるようにしたんですけれども、まずは動画の内容を話し合っていて、ここからのスタートになると思います、どういった内容でどういった順番の動画を流すのか。今の

ところ、各常任委員会からの報告ということは決定しているかとは思いますが、初めに議長さんのあいさつがあってとか、各常任委員会の報告があって、広報広聴委員会の報告があってというような流れにするのか、各常任委員会は別々の動画で上げるのかとか、そういったことを決めていただきたいと思います。

それによりまして、資料の内容なんかも決まってくるかと思えますけれども、こちらのほうもできれば本日協議をしていただいて、決めていただけたらと思います。資料の内容といいますが、先ほど言いましたけれども各常任委員会からの報告をするというような感じになるかと思うので、各常任委員会からの報告に関する資料を上げていかれることになるとは思いますが、一応イメージとしてつけてお配りしております資料、総務文教委員会となっておりますけれども、これが、前は中止になったので前々回の資料なんですけれども、この何枚か束になっているやつなんですけど、例えばこういう感じにするのであれば、ここは総務政策になるんですけれども、総務政策委員会というのはこういう部局を担当していて、こんな事業とこんな事業が目玉でというような感じですし、ここは市民福祉委員会になっていきますけれども、こういったような資料を作るのかどうするのか、これをたたき台にして作るのかどうするのかっていうようなところを決めていただくこととなります。

そういった作業をする関係で、初めの資料に戻っていただいて、上から3つ目の白丸になるんですけれども、役割分担と決めていただくことになるとは思います。その役割分担といいますが、表の右側に役割分担等というような欄を作っておりますけれども、四角で囲んである資料作成班ですとか、撮影班、編集班、とりあえず3つの班、チームみたいなものをつくられて進めていられるのかなど。今までは、資料作成班を作ったりしておられましたので、そういうふうな感じになるのかなということ、一応案に書かせていただいております。4月19日の週なんですけれども、だいたいこの辺りで、もし今日決まらなければ動画だとか資料の内容だとかをもっと詰めていったりして、できれば早く詰めていってもらって、動画配信をいつからいつまでにするのかとか、配信したことに対する市民の皆様からの意見募集についてはどうするのかというようなことも詰めていただけたらと思っておりますし、ここでは日程的に資料の作成に取りかかっていたことになるとは思います。資料作成班が中心となって資料を作っていくんですけど、その米印に書いておりますけれども、各常任委員会からの報告項目、さっき参考で見ていただいた資料、各委員会から何項目か上がっているんですけれども、こういうものを作られるのであれば、じゃどの項目を上げるのかとか、この下に書いてあります読み上げみたいな原稿もあるんですけれども、こういうものも作るのであればそれも作っていただくことになるんですけれども。広報広聴委員というのが各常任委員会から選任されておられるので、各常任委員会に所属しておられる広報広聴委員さんが中心となって項目を上げたり原稿を作るというようなことになるのかなと思っております。といたしますのも、実は岡村委員長さんと矢田貝副委員長さんが各常任委員会の正副委員長さんに、3月定例会の最終日だったんですけれども、こういうことをしますので御協力をお願いしますというような話をしたところ、常任委員会の正副委員長さんの中には過去に広報広聴委員をしておられた方もたくさんいらっしゃいますので、そういった方から、できれば広報広聴委員が中心となって資料作成等を、今までもそうだったので、進めていっ

ていただきたいということで、もちろん各常任委員会の正副委員長さんに相談もされて進めていかれることになると思うんですけども、そういう申し出もありましたので一応ここではそういうふうな書き方をしております。なので、各常任委員会に所属しておられる広報広聴委員さんが中心となって資料の項目をピックアップしたりとか読み上げ原稿を作ったりとかということ、資料作成班の方をお願いをして提出をされて作っていくというような感じになるのかなと思います。そうなりますと、そこに書いておりますけれども、締め切りというのがだいたい4月末ぐらい、ゴールデンウイーク前ぐらいになるのかなというところを想定して、一応4月23締め切りというふうに勝手ながら書かせていただいております。

その次の週になって、4月の26から5月9日、2週分ここに入れさせていただいております、といいますのもゴールデンウイークがあって休日がありますので。4月26から5月9までの間に原稿の作成をそのまま進めていただいて、ゴールデンウイーク明け、5月10日から5月16日ぐらいにはもう完成をしている状態。もし、動画の中で各常任委員会の正副委員長さん等に出演していただくのであれば、読み上げ原稿は事前に見ておいていただくとかという確認作業が必要になると思いますので、もしそうするのであれば12日ぐらいに原稿をお渡しし、確認をし、撮影の準備に入っていきというような流れになるのかなと想定しております。5月17日から5月23日、ここが5月の閉会中の委員会のある週なんですけれども、以前の広報広聴委員会でも御意見があったと思いますが、この辺りで撮影を順番にしていって、撮影が終わりましたら動画を編集していく、ここでも動画編集班というものが必要なのかなということで想定しています。

5月24から5月30の週なんですけれども、以前も御意見がありましたけれども、もし資料ができたのであれば、事前に資料をホームページに掲載をするのか、そこまでなくても動画と同時に出せばいいんじゃないかなという御意見もあるかと思っておりますけれども、もしされるのであれば事務局のほうでホームページにアップさせていただく。あと、そのまま引き続き動画の編集をしていただいて、最終的な確認をしていただく。もしかしたら撮り直しが必要なところが出てきたりするかもしれないんですけども、そういうのも進めていただいて、最終的なゴールは広報広聴委員会が改選される前には動画を配信するというのが最終的なゴールですので、だいたい5月30日から6月6日の週ぐらいには配信を始めるというようなスケジュールの案をこちらで考えさせていただきましたので、これをたたき台にされるなり、まったく別の案なり、構いませんので、今日御協議いただいて、動画の内容、資料の内容、役割分担などを御協議いただけたらなと思っております。とりあえず以上ですけれども、よろしいでしょうか。

**○岡村委員長** はい、ありがとうございました。今、資料の説明をしていただきました。あくまで6月中旬、委員の改選ということで、現在の任期中に動画を配信できるようにしていこうという日程を今、考えて出していただいたということになります。かなりタイトな日程になるかと思っておりますけども、そういったところも含めて今日協議を行っていきたいと思います。

それと、あらかじめ四日市とか掛川でしたか、動画をすでにアップしているところ、参考にといいて見ていただいたというふうに思いますけれども、そういったところを参考にしながら協議を進めていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

それでは、まず動画の内容の決定とか資料の内容の決定、こういったことが書いてありますけれども、こういったことを中心に、それから掛川などの動画を見ていただいた感想なども含めて御発言いただいたらというふうに思います。どなたからでも結構ですのでお願いします。

田村委員。

**○田村委員** まず、この我々の任期中に上げてしまおうと私も言いまして、こういうスケジュール感でタイトだということで、非常に委員の皆さん、事務局の皆さんに大変御迷惑をかけるなどというふうに、私もちょっと申し訳なく思っておりますが、ぜひこれはやっていきたいというふうに思っております。スケジュールと、この附属のもう一つ、各委員会ごとに資料をつけていただいているんですが、これを見た率直な感想、もうできてるやんというような思いがあります。これに、例えば現場がわかる写真であるとか、そういった目に訴えてわかりやすいものが挿入される、その背景で各委員がその説明をするというような内容で僕はいいんじゃないかなというふうに、まず1回目ですので。2回目以降、委員の方々の、例えば何とか委員会、その委員会の所属議員の皆さんの集合写真みたいなものがあって、各委員会の説明が始まるという感じで、いわゆる説明中の各委員さん、説明員の露出というのは僕はいらんじゃないかなというふうに思っております。ボリューム感も、前回私が言ったと思うんですが、とりあえずさくっと10分程度で一通り見ていけるような形で考えていけば、やっぱり4項目とか3項目とか、そういったものになるんじゃないかと思うので、取り上げる内容もこの各事業、僕もう全然ばっちりだと思っておりますけれども、各委員会の皆さんの御協議で、このことは言うておきたいというようなものについては入れていって、参考となる写真等の挿入の御準備をいただくというような形でいいんじゃないかなというふうに私は考えております。以上です。

**○岡村委員長** はい、ありがとうございます。そのほかございませんでしょうか。

安達委員。

**○安達委員** すみません、初歩的なことの話になるかなと思うんですが、この録画で配信するということの経費というのは、全然考えなくてもいいんでしょうか。僕は、R3年度の予算にかかわる経費というのは、あまり詳しく、議会の事務局費、議会の経費を精査していないんですが、それは全く考えなくていいんでしょうか。そこを少し事務局からでもいいですが説明をもらいたいです。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** 経費はかかりません。YouTube配信するだけでしたら経費はかかりません。今、職員課さんが市のホームページに職員募集に関することで動画配信をしておられますけれども、経費はかかっていません。ただ、編集のソフトだとかパソコンというのは議会にはありませんので、それは、これまでもそうだったんですけど各議員さんの持っておられるパソコンで編集等していただくということになります。

**○安達委員** 細かいですが、そのソフトなるものはどの程度を考えておられるのか。買うとしたらと言われたんですけど。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** そもそも購入がまず協議されておられませんので、まだ見積

等は取っておりません。

**○岡村委員長** 田村委員。

**○田村委員** 私のほうから補足させていただきますと、マイクロソフト社が無料配布しておりますムービーメーカーというソフトがあります。私もそれを持っていますし、イメージとしてはその上でプレゼンテーションと音を流すというものですので、ソフトウェアについてはお金はかからないと思っていただいて結構です。

**○岡村委員長** 安達委員よろしいでしょうか。

安達委員。

**○安達委員** 事務局が一般的に経費として計上しなくても、委員さんが持っておられるものを使えばと田村委員が言われたんですが、そういう扱いでいいんでしょうか。そこが僕はしっくりいかないんですけれども。できるできないも含めて、私自身も全くそういうことをわかってないし、できないので、そこからちょっと説明してもらえればと思うんですが。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** 確か伊藤委員長さんだったとき、広報広聴委員会ですね、例えばこれもパワーポイントで委員さんがつくられたんですけれども、市の職員が使っているようなパソコンにはそもそもソフトが入っておりませんし、インストールすることもできませんので、全部委員さんたちが中心となってつくられております。と、経費のこと……。

(「経費。全く論外でいいんですか。」と安達委員)

[発言する者あり]

他の委員さんから御意見ありますか。いままで広報広聴委員しておられた方などで。

**○岡村委員長** 何か補足説明とか、そういうことは。

田村委員。

**○田村委員** 動画の、例えば編集であるとかというのは、我々がしなきゃいけない。その中でどういうインフラがあってそういうスキルがあってということを考えると、やっぱり数人でやっていかなきゃいけないのかなというふうに考えておまして、例えば有料のいいソフトが仮に来たとしても、そのスキルに合っていないという自信がありますので、むしろそういうソフトよりは無料配布の今あるムービーメーカーであるとかというほうが、動画作成についてはお受けしやすいというふうに考えますので。それ以外の何か高級なソフトウェアが来たら、私はもう手が出せないといわざるを得ないということです。

**○岡村委員長** あくまですでに使いこなされておるソフトを使ってということだと思いますけども。よろしいでしょうか。

そのほかありませんでしょうか。

門脇委員。

**○門脇委員** ちょっと話が元に戻りますけど、動画の内容、まず時間を設定というか決めて、いろいろ割り当てしないといけないと思うんですけど、先ほど田村委員が10分程度って言われました、たぶん委員会1つずつ10分程度で30分に、前にちょっと挨拶があればもうちょっとかかるかもしれませんが、事務局のほうからメールでいただいた部分のところ、ちょっとどこの

市か忘れたんですけど見たら、1つの委員会が1時間過ぎてるのがあって、これはちょっと見る人にとって、1時間過ぎたのはなかなか市民の方に見てもらえないんじゃないかと思います。負担という面で。だから先ほど田村委員が言われたように、1つの委員会が10分程度がベストんじゃないかなと思います。とりあえず初めてのことで、その辺からスタートしたほうがいいんじゃないかと私は思います。

**○岡村委員長** 今、門脇委員から御指摘がありましたように、正直に言いましてかなり長いなど、見させていただいた部分もあります。そういったところで、本当に市民の皆さんに見ていただけるものを作っていくということを考えて、じゃ適切な時間というのはどのくらいだろうかということだろうと思いますけども、今、各委員会10分ずつぐらいでどうだろうかというふうなことがあって、それからおのずとまた各委員会の取り上げる項目数というのもだいたい決まってくるというふうに思うんですけども。皆さんの御意見いかがでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 内容に関してなんですが、各委員会の報告ということで、私としては何を取り上げて、どういうふうな説明をするかというのは、各委員会が中心というか、要は各委員会の委員長、副委員長が適切ではないかと思うのですが。この前、各委員会の委員長、副委員長と一緒に話をされたということで、その辺はどういう話になっているのですか。

**○岡村委員長** 委員長、副委員長の皆さんに説明させていただいたということがありますけども、具体的にどうというふうな形で進めるかということについてはまだ言及しておりませんので、先ほど佐藤係長のほうからもありましたけども、各常任委員会から広報広聴委員になっていただいておりますので、そういったところも含めて中心になって進めてもらったかどうかという御意見もあったということだと思います。

土光委員。

**○土光委員** 各委員会から出てるので、各委員会はそこが中心というか担当になってすればいいと思うのですが、何を取り上げてどういう説明をするかというのは、委員会から出た広報広聴委員が決めたり考えたり、そちらが主体的にということなんですが、これは何を取り上げて、どういう説明をするか、何を市民に報告したいかというのは各委員会がむしろ主体的に決めるものではないのですか。連絡役というか窓口は、当然各委員会からの広報広聴委員がいろいろ話をすればいいと思うのですが、基本的に内容自身は各委員会が主体的というふうになったほうがいいのではないかと思うのですが。ただ、それを各委員会がこういうスケジュールでやっていっただけかどうかは、再度確認は必要だと思うんですが。そういうところをはっきりしないといけないのではないのでしょうか。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** だんだん確信に迫ってきてわくわくしているんですけども、土光委員がおっしゃるとおりだと私も思ったところなんですけども、それで行くのであれば広報広聴委員の役が変わった段階で、そこを各委員で広報広聴委員会での委員会ごとの決定事項に向かって、こうしていこうというスタートの合意をもって進んでいくことが必要だったんじゃないかなというふうに思っていて、今回のこの取組ってということについては、まずはアップまでに2回閉会中の委

員会が予定されていますので、1回目、4月の閉会中の委員会までに、これは全く私が今思っていることなんですけど、この現在の広報広聴委員会の各委員会から出てきているメンバーが、ある程度のたたきをもって閉会中の委員会に臨んで、委員長を中心にまずは了解をいただかないと進まないという点はあるというふうには思っていますが、まったくゼロの段階で各委員長の下で、広報広聴で紹介することを何にしましょうかって諮るよりは、下準備をした上で閉会中の委員会に臨んでいくのがスピーディかなって思います。

**○岡村委員長** はい、ありがとうございました。

佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** 広報広聴委員さんが中心となってということなんですけど、先ほどお配りした1枚目の資料の役割分担等のところに資料作成班の下に四角で常任委員会に所属する広報広聴委員の下に（各常任委員会の正副委員長）というふうには書いているんですが、たぶんこれまでの議会報告会の準備なんかでも、基本的には先ほど説明したとおりに所属しておられる各広報広聴委員さんが、必要に応じて各常任委員会の正副委員長さんに御相談されたり、ほかの委員さんに御相談されたりして、委員会の中で協議をするというよりは、たぶん口頭で、控室なんかにお邪魔されて話し合いをして、これでどうだろうというたたき台を作っておられたんじゃないかなというふうなイメージを持っております。これまで、広報広聴委員をしていただいた議員さんに聞いてみられてもいいかと思うんですけども、委員会の中で話し合うというようなどころではなく、それぞれ御都合を合わせて会われて、相談されて決めて、広報広聴の資料作成班に提出をされたというような流れだったと思っております。

**○岡村委員長** 総務政策委員会からは、田村委員と安達委員。それから民生教育委員会からは矢田貝委員と門脇委員、それから土光委員。そして、都市経済委員会からは尾沢委員、岡村と前原委員という委員が出ておりますので、それぞれの委員の皆さん、常任委員会ごとに相談していただいて、常任委員会の正副委員長さんと御相談して、取り上げる項目などについて協議していただくという形で進めたらどうかと思いますけれども。

土光委員。

**○土光委員** 今日の資料の、一昨年資料というのは、先ほど佐藤さんが経緯を説明したような形でこれは作成されたということによろしいでしょうか。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** 資料の作成は、事務局は関わってなくて、委員長さんや委員さんが中心となって作っていただきましたので、ちょっと具体的なところは直接聞いてみないとわからないというところはあるんですけども、そういったような感じで委員長さんが中心となって、この資料は作っていただいたと承知しております。

**○岡村委員長** 土光委員。

**○土光委員** 事務局は基本的にこれは関わっていないということですね。それから、一応言っときますけど、私は議運から出されたので。当然、民生教育に入っているからそこで一緒にやりますけど、私は一応形としては議運からということですが、はい、それだけです。

**○岡村委員長** はい、失礼しました。

土光委員。

**○土光委員** ほかに確認をしたいのですが、動画のとり方なんです、それこそ掛川と四日市、対象的な内容だったと思いますが、どちらかはもう委員自身が写って説明するというスタイル。それから、もう一つは完全にパネルで、顔出しはせずにパネルを画面に写してそれを説明する、そういう形だったと思います。今回、どちらの形でするかというのは、これは統一というか決めたほうが良いと思いました。それから、パネルだとして、これは誰がしゃべるのか。つまり、広報広聴委員会のそれぞれの担当の委員がしゃべるのか、委員会だから委員長がしゃべるのか、その辺のところも確認はしたほうが良いと思いますが。

**○岡村委員長** 田村委員。

**○田村委員** 先ほど私が申し上げたと思うんですけども、基本、人は写り込まない。その代わりに冒頭に集合写真を挿入すると。しゃべるのは各委員会でお決めいただければいいんですが、ボリュームがそんなにありませんというか、せいぜい2人か3人というふうになると、やはり委員長、副委員長さんぐらいののかなというイメージは持っております。ただ、各委員会で、わしはしゃべりたいという人はぜひやっていただけたらと思うので、ここで書いてある動画撮影というよりは音声収録と考えたほうが良いのかなと考えます。

**○岡村委員長** 今、田村委員から具体的にこういうふうな形で収録したらどうかということもありましたけども。今、田村委員からの御提案について、そういう形で進めていこうということを確認してよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** はい、それじゃあそういう形で、今、田村委員のほうからありましたように冒頭に各常任委員会の集合写真をアップすると。そののちの各事業などの説明については、委員長なり、適当なそれぞれの委員会から説明していただくという形で進めることを確認したいと思います。そのほか、皆さんのほうから。

土光委員。

**○土光委員** ちょっと今の内容で確認ですが、そうすると事実上、動画撮影というのは音声収録ですよ、はっきり言って。それから、もう一つは編集の段階で、パネルが写って説明するという、そういった形の動画になると思いますが、その時にテロップ的なものは入れるんですか。それも入れない、パネルで全部説明しつくすということで、編集の時にプラスアルファ、テロップ的なことは入れるというのは考えない、それともあり得る。どうでしょうか。これ、編集の時のやり方にも影響するので、それを確認したいです。

**○岡村委員長** 田村委員。

**○田村委員** 今、持っているイメージを申し上げますと、パネルはもうこれで、例えば各委員会のこれらは完全に完成している状態ですので、これはそのまま使うと。ただし、例えば安倍三柳線の写真であるとか、そういったものについては補足説明として白地のテロップを入れるということは考えております。

**○岡村委員長** 編集の過程で、そういうものを付け加えるとかということもありかなという感じがいたしますけども。



土光委員。

**○土光委員** というのは、私のイメージのテロップは説明の内容を簡潔に文字であらわす、そういった意味のテロップなんですけど、例えばその動画をホームページで見るときに、聴覚障がい者の人にも見ていただけるという前提だったら、そういうのはあったほうがいいと思うし、最初だし今回はそこまで考えないということだったら、今回はそういうふうにするということだったらそれでいいと思います。その辺のことをちょっと確認をしたかったのです。

**○岡村委員長** 今、土光委員から貴重な御意見をいただきました。聴覚障がい者の方への配慮ということについても、やっぱり検討しなければいけないのかなというふうに気づかされたと思いますけれども。

前原委員。

**○前原委員** 今回はとりあえずYouTubeにアップするっていうことをやるということなので、あと期限が決まっている、早くしなければいけないということもありますので、やはりできることをやっていくということで、まずはアップするということに比重を置いて、申し訳ないですけども聴覚障がい者向けのというのは次の段階で、もし続くとしたら考えればいいことではないかと思います。まだ何も作っていないわけですから、まず物を作っていくということに主眼を置きたいなと思います。

**○岡村委員長** はい、ありがとうございました。

矢田貝委員。

**○矢田貝委員** 聴覚障がい者の方に見ていただけるに足りる文字での資料作りというのを私たちが意識をするというのを私たちが意識をするということを確認をする。で、写真については、そこをフォローするテロップを入れるということ。もし、障がいのある方に配慮が必要となれば、逆に視覚障がいの方について、市のホームページにもあるように、そこをクリックすると読み上げが始まるというような、そちらのほうの方がまた何年か後の工夫だろうというふうに思いました。

**○岡村委員長** はい、ありがとうございました。

田村委員。

**○田村委員** 今の話の流れで申し上げますと、このスケジュール案の中に各委員会の委員さんの集合写真を撮る日程というのを提示してあげないといけないというふうに考えておまして、例えば女性の方だったらきれいにお化粧をしていただいたりとか服をとかいろいろ、ええ、今日撮るのみたいなことにならないように事前に各委員会にお知らせいただけるように御配慮を願います。意見です。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議事事務局議事調査担当係長** ちなみに写真を撮るのは5月の閉会中の委員会のときでしょうか。4月、5月、どちらを想定しておられますでしょうか。もし4月だったら御案内するときに早めになりますので。5月で大丈夫でしょうか。

(「はい、オーケーです。」と田村委員)

(「いいと思います。」と前原委員)

**○岡村委員長** どういう形になるかあれですけども、撮影は5月の閉会中の委員会のときという

形で御案内させていただくということで確認したいと思います。

そのほか、皆さんのほうから御意見ありませんでしょうか。これから各常任委員会で項目を絞り込んでいくという作業がありますので、そういったところについては各常任委員会から出ている委員さんと常任委員会の正副委員長さんと御相談いただいて、検討していただくという形にこれから具体化が進もうかと思えます。特に、4月の閉会中の委員会でそこら辺は確認するということで進めていきたいと思えますけども、そういう形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○岡村委員長 佐藤係長。

○佐藤議事事務局議事調査担当係長 じゃ、資料内容もこれをたたき台にして作っていくことで決定で、役割分担をどうするかということをお今日御協議いただけたら、次々話が進んでいいかなと思えますけどいかがでしょうか。

○岡村委員長 はい、今役割分担ということが、提起がありましたですけども、これについて、とりあえず当面、資料作成班というのが作業を進めていくのに急がなくてはならないことになろうかと思えますけども。資料作成班に何々委員という形で、3人ほど委員の御名前を書くという形になっておりますけれども。例えば、3つの常任委員会からお一人ずつそれぞれ出いただくという形で決めてはどうかと思えますけども。

佐藤係長。

○佐藤議事事務局議事調査担当係長 一応この資料では、イメージということで3人にしておりますけども必ずしも3人じゃなくても大丈夫ですので、その辺は御協議して決めていただけたらと思えます。以上です。

○岡村委員長 矢田貝委員。

○矢田貝委員 資料作成っていうところは、統一性が必要なのでそれぞれのところでお一人ずつがそろって統一したものをってことだと思うんですけど、まず内容の検討等をしないとイケませんので、各常任委員会にまず私たちが別れまして、検討していくっていうのを確認をしていただければ、4月の閉会中の委員会までに各常任委員会の広報広聴委員でまずたたきを合わせていけばいいことではなかろうかと思えますけども、どうでしょうか。

○岡村委員長 皆さんの御意見いかがでしょうか。

それではそういう形で進めていくということを確認したいと思えます。特に委員の方に資料作成班として出いただくということについては、いかがでしょうか。

矢田貝委員。

○矢田貝委員 追加資料で写真っていう話が出たんですけど、各委員会が同じような時間をいただいた中で資料は何枚程度がよくて、その写真を何枚程度はさめるかというのは、ある委員会は写真がたっぷり、ある委員会は1枚だとか、ないというようなことがあってはいけないとは思いますが、その辺のバランスって各委員会にお任せでいいものなんでしょうかね。資料の枚数的に。

○岡村委員長 土光委員。

○土光委員 私は、お任せでいいと思えます。10分ということで各委員会で工夫していただ

ればいいんじゃないでしょうか。

**○岡村委員長** 今、土光委員のほうからは、10分という枠内で、それぞれ常任委員会で自由に作成してもらうということだったと思いますけども。皆さんどうでしょうか。

田村委員。

**○田村委員** 一つのたたき台的なものとして、この2冊目の複数ある資料というのは非常に参考になると思いますが、各委員会さんにお任せという中でも、例えば本当は何ポイント以上で作ってくださいとか、ぎゅうぎゅう詰めになってちょっと読みにくいというようなことがないようなガイドラインは提示すればいいと思いますが、例えば背景のデザインであったりとかというのは各委員会のカラーが出せたらそれはそれでいいんじゃないかなというふうに思いますので、ある一定の最低限のルールへの提示というのは、こちらの委員会からすべきなんじゃないかと。それと、ひな形といいましょうか、こういったフォームへの提示というのもするのがよいのかなというふうに思います。あと、文字のフォントですよ、その統一ということもすべきじゃないかと思えます。

**○岡村委員長** ある程度、書体ですとか、それからポイントとかというのはある程度決めた上で、その中で作っていただくということだと思いますけども。

土光委員。

**○土光委員** いいのではないかと思います。

**○岡村委員長** それでは、一応、資料作成班というふうな形で、ある程度中心になって、そのことを常任委員会の正副委員長さんなどとも連携を取って作っていただくということになるかと思えますけれども。

田村委員。

**○田村委員** 資料の作成の、最終的に提示していただくのは、たぶん私、編集になるんだろうなとぼんやり思いながら言うんですけども、基本となるソフトはパワーポイント、それに準ずるものというふうにしていただかないといけないのかなというふうには考えております。その中で、例えばアニメーション挿入、例えば文字がスライドで入るとか、フェイドインするとかってというのは各委員会さんでやられたらいいんじゃないかと思えます。

**○岡村委員長** とりあえず、来週になりますけども閉会中の委員会がございますので、そこまですにある程度たたき台なども持って正副常任委員長さんと御協議、相談していただくという形になるかと思えますけども。イメージとして、御理解いただけでしょうか。特に今、この場でするのか、この資料作成班というのを作ってというふうな形で、名前を挙げて決めていただくということについてはいかがでしょうか。

土光委員。

**○土光委員** 最低1名は各委員会が誰が担当か、1名は決めたほうが物事は進みやすいのではないのでしょうか。あとは、その所属する委員と一緒にやることになると思いますが、一応1人は決めたほうがいいと思えます。

**○岡村委員長** では、広報広聴委員会の委員の皆さんの中から、各常任委員会から出ていただいておりますので、その中で、じゃ資料作成班としては誰々委員ということをしてそれぞれの常任委員

会ごとに1名は出していただくという形で進めるということによろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** それじゃあ、先ほどちょっと御名前を挙げましたけれども、各常任委員会、2名ないし3名の方が出ていただいておりますので、その中で会議終了後、御相談していただいて、資料作成班には誰がなっていただくということを御協議の上、事務局のほうに言っていただくという形で取り扱ってよろしいでしょうか。

前原委員。

**○前原委員** 今、暫時休憩して、各グループに分かれてぱっと決めてしまえばいいじゃないですかね。そのほうが事が早いでしょう。

**○岡村委員長** 今、そういう御提案がありましたけれども、そういう形によろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○岡村委員長** それじゃあ、暫時休憩いたします。

**午前10時45分 休憩**

**午前10時49分 再開**

**○岡村委員長** それでは、委員会を再開します。

それぞれ休憩中に御協議いただきまして、資料作成班として総務政策委員会からは安達委員、民生教育委員会からは矢田貝委員、そして都市経済委員会からは前原委員に、大変ですけども、資料作成班として御尽力いただくということにしたいと思っておりますので、以上確認したいと思います。よろしくをお願いします。

以上、ここまで協議してまいりましたけれども、そのほか何か皆さんのほうからございませんでしょうか。先ほど、安達委員さんのほうからありましたけれども、常任委員会の正副委員長さんのほうにはそういった旨をきちんと説明しといていただきたいということがありましたので、その点はやっていきたいというふうに思います。

田村委員。

**○田村委員** 音声の収録、動画撮影よりは音声の収録というふうに先ほど申し上げましたけれども、これは事務局にお願いしたいんですけれど、音声を取る機械であるとか、それとあと収録する場所、マイクとの距離とかっていうのは均一にしていきたいということで、その場所の提供と、できましたら各個人の携帯よりは事務局で持っておられる音声を取る何か機械でMP3を提供いただければというふうに考えます。以上です。

**○岡村委員長** 佐藤係長。

**○佐藤議会事務局議事調査担当係長** 部屋のほうはもちろん確保させていただきます。たぶん静かなところになると思うので、今の想定では委員会室を想定しています。どうしても今、会議で第1、第2を使ってばたばたされたりもしますので、委員会室がいいのかなと。全く無音になるとはちょっと約束できないんですけど。あ、モニター室、そうですねモニター室もいいかと思えます。ちょっとそこら辺も、初めてですので、またちょっと委員の皆さんに相談をさせていただきながらということになります。ちなみに、收音の機械といいますとどういったものを。事務局にあるのはICレコーダーだとか……。

(「それでいいです、十分。」と田村委員)

十分ですか、わかりました。はい、じゃ準備はもちろんさせていただきます。ありがとうございます。

**○岡村委員長** そういうセッティングのほうを事務局に御協力をお願いしたいというふうに思います。

そのほか、皆さんのほうから何か御意見、御提案ございませんでしょうか。

安達委員。

**○安達委員** 自分、気が付いたのはこの2市の例がありますよっていうのでちょっと見たんですが、しゃべられるときにぺらぺらという音を立てないことを非常に気にして、掛川さんだったかな、資料をこう押さえられるっていうのかな。それで、ぺらぺらっていう音が聞こえないように気を使って編集しておられるかな、録音をしておられるかなって気づきましたんで、そういうのは大事な一つのポイントかなと思って見聞きしました。よろしくをお願いします。

**○岡村委員長** そういったところも、撮影班とか編集班とかいろいろあると思いますけども、配慮しながらやっていくということをお願いしたいと思います。

そのほか、皆さんのほうからございませんでしょうか。

事務局のほうからはよろしいですか。

**○佐藤議会議事事務局議事調査担当係長** はい。

**○岡村委員長** はい、それでは、長時間にわたりまして御協議いただきました。ありがとうございました。

以上で広報広聴委員会を閉じさせていただきます。

**午前10時53分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

広報広聴委員長 岡 村 英 治